

発達障がい者への入試での配慮について

嘉悦大学

1. 主旨

コミュニケーション上の不自由さが面接に不利にならないように配慮を徹底する。質問が分からないときはゆっくりと聞き返し、時間がかかっても構わないこと、これが点数に影響を与えないことを伝え、確実なコミュニケーションを最優先する。

2. 配慮事項

基本的な配慮事項は以下の通りである。なお、あらかじめ障がいのある学生と必要な配慮事項の確認を行う。

- 注意事項等の文書による伝達
- 試験室入口まで付き添い者の同伴
- トイレに近い席に配置（窓際でない席）
- 別室受験及び試験時間の延長（通常の1.3倍）
- 室温調整可能な試験室での受験
- 試験室への車での来場可

以上